

令和7年度 広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業 活動報告書

広島県立加計高等学校芸北分校

1 事業内容等

教育活動	区分	⑦地域におけるにぎわいの創出
	テーマ	地域資源を活用したヒト・モノ・コトの流れの創出
連携する市町		広島市、北広島町
連携する企業・団体等		燻製シマヘイ、広島県公立大学法人 叡啓大学、 困炉裏の店ゆず庵、J A広島市、北広島町役場商工観光課、 株式会社イズミ

2 活動の目的

北広島町芸北地域の人口は少子高齢化の影響及び連携型中高一貫教育校の北広島町立芸北中学校の全校生徒が31人であることから地域社会全体の地域力の衰退が課題となっている。そこで、本校としては、その課題解決のために高校が核となつて人の流れを作ることにより地域活性化を図っている。その主たる活動が地域の特産品であるリンゴを活用した商品企画と考え、町内の事業所等と連携、協働しながら目的の達成に向けて取り組んでいる。本事業を通して、地域資源を活用したヒト・モノ・コトの流れの創出について検証する。

3 活動の内容

(1) 打ち合わせ（計画～実施）

地域課題解決プロジェクトの実施に向けて町内事業所等と打ち合わせを行い、実施する。

(2) 高大連携

地域課題解決プロジェクトの深化を図るため、広島県公立大学法人 叡啓大学等と連携を図る。

(3) 総合的な探究の時間「みのり」学習成果発表会

連携、協働した事業所等の担当者や地域住民を招聘し、学習の成果について発表する。

(4) プロジェクトの引き継ぎ

次年度に向けて、上級生が下級生にプロジェクトを引き継ぐことにより、プロジェクトの継続性と発展性を持たせる。

4 期待される効果

- (1) 地域の持つ多面的な特質を地域資源として捉えるために実践的なフィールド活動を行うことにより、地域にある生の情報や資源の価値や活用について創造的・協働的に取り組む力を身に付けることができる。
- (2) 地域や学校の魅力化及び地域経済にプラスの効果をもたらす探究のプロセスが、中山間地域が抱える課題の解決をすることができる。

5 活動の報告及び成果

【実施日】 7月2日

【場所】 広島県立加計高等学校芸北分校（北広島町）

【取り組んだ内容】

活動のスタートアッププログラムとして、広島県公立大学法人 叡啓大学の教授を招聘し、「自分の好奇心を探る、共に考える、校外でのリアルに出会う・出会う」をテーマに学習した。



【実施日】 7月4日

【場所】 燻製シマヘイ（広島市）

【取り組んだ内容】

今年度のプロジェクトの計画について、燻製シマヘイ、株式会社イズミ、広島県立加計高等学校芸北分校との三者協議を行った。



【実施日】 7月20日

【場所】 北広島町役場（北広島町）

【取り組んだ内容】

高校生が考案した商品を広く県内外の方に知らせるため、北広島町役場等の団体と連携し、「ふるさと納税」の返礼品に活用できないかどうかの検討会議を行った。



【実施日】 7月23日

【場所】 石央森林組合（島根県浜田市）

【取り組んだ内容】

今年度のプロジェクトの計画について、プレゼンテーションを行った。また、本校で回収したリンゴ剪定枝を燻製チップにするため、粉砕機等を使ってチップの作成を行った。



【実施日】 7月27日

【場所】 株式会社イズミ（広島市）

【取り組んだ内容】

これまで打ち合わせをしてきた取組の内容を踏まえて、株式会社イズミ様の社員と協議し、販売促進会等の企画会議を行った。



【実施日】 8月22日

【場所】 松山市青少年センター（愛媛県松山市）

【取り組んだ内容】

「Takara Leben Presents SDGs 甲子園 2025 ～高校生実践プロジェクト～」に広島県代表として出場し、今回のプロジェクトについて発表した。この大会は、新学習指導要綱に記載されている「持続可能な社会の創り手」を育成するために、SDGsの達成に向けた地域課題について研究することで、課題の発見力や解決できる行動力を養っていくことを目的としている大会である。



【実施日】 9月13・14日

【場所】 LECT（広島市）

【取り組んだ内容】

これまで活動した内容を多くの県民に知っていただくための広報活動及び高校生が考案した商品のヒアリング調査を行った。



【実施日】 10月8日

【場所】 広島県立加計高等学校芸北分校（北広島町）

【取り組んだ内容】

りんごを使った商品のレシピ開発をするため、「囲炉裏の店ゆず庵」様を招聘し、高校生と一緒にレシピの考案を行った。

【実施日】10月18・19日

【場所】LECT（広島市）

【取り組んだ内容】

これまで活動した内容を多くの県民に知っていただくための広報活動及び高校生が考案した商品の第2回目のヒアリング調査を行った。



【実施日】10月25・26日

【場所】広島城（広島市）

【取り組んだ内容】

J A広島中央会様と連携し、北広島町の食と農を発信！総合的な探究の時間で共同開発した芸分りんごスイーツ、分校産りんごあめ、ぶちうまドレドレ焼きそば、りんごサイダー等を提供した。2日間で延べ1,000人の方に本校の取組や北広島町の魅力を知らせることができた。

また、11月に開催する地域の秋まつりと合同での本校文化祭に足を運んでいただけるようチラシを配布した。



【実施日】12月20日（土）

【場所】芸北文化ホール（北広島町）

【取り組み内容】

本校の総合的な探究の時間「みのり」学習成果発表会を行った。本プロジェクトチームに加え、11のチームが1年間の取組の成果について発表した。ゲストには、これまでのプロジェクトチームに関わってきた事業所及び団体等、総勢15人の関係者や地域住民の方に御出席いただき、各プロジェクトチームの評価をしていただいた。

評価者のコメントは、次のとおりである。

- ・行動活動範囲を広げ、人とのつながりをしっかり作り、自分たちだけではできないことも可能にして素晴らしかった。そのことで地域にも貢献している。
- ・お招きいただきありがとうございました。私自身、得るものが多々あり勉強になりました。社会に触れる前の純粋な感覚を大切にし人との縁を大切に 地域の課題解決と芸北分校ブランドの育成、これからの進化を楽しみにしています。魅力ある学校づくりを応援しています。

今回の発表会を通じて、生徒たちは多くの学びと成長を得ることができた。自身の学びや成果を他者と共有し、フィードバックを受け取る中で、新たな視点や深い学びにつながった。